

第7回福島問題予備研究会 議事録

日 時： 平成27年8月4日（火）15:00~17:30

場 所： 化学工学会会議室

出席者： （敬称略、順不同）小林、横堀、中尾、鈴木、郷、松井、橋本(記録)

配布資料

- #7.1 日本原子力学会打ち合わせメモ（小林浩之版）（提出：小林）
- #7.2 福島研究基盤創世センターの取り組み（提出：中尾）
- #7.3 関連する学協会活動報告、及び日本化学会主催講演会(提出：横堀)
- #7.4 電中研塚田氏との面談の件（提出：橋本）
- #7.5 福島第一原子力発電所における汚染水処理技術(小山正史、化学工学、第78巻、第11号,pp.812(2014))（提出：橋本）
- #7.6 トリチウムの今後（玉手匡子、福島民報、2015年8月2日）（提出：鈴木）
- #7.7 福島第一原子力発電所の滞留水への放射性核種放出（提出：横堀）

1. 連絡・報告事項

1) 日本原子力学会打ち合わせの報告（小林）

7月29日に日本原子力学会と化学工学会(福島原発事故対策検討委員会←福島問題研究会からの名称変更)との初会合が開かれた。原子力学会が主催する各種研究会、分科会への化学工学会からのオブザーバー参加を認める。原子力学会が政府事故調、国会事故調等のデータを元に、独自の事故調査報告と提言を行っており、概要はインターネットで見られる。

2) 福島研究基盤創世センターの取り組み(中尾)

配付資料#7.2「福島研究基盤創世センターの取り組み」につき、説明があった。

3) 汚染水処理用吸着剤開発に関する情報（橋本）

現在、高性能多核種除去設備で使用されているチタン酸塩吸着剤の性能に関しては、公開されているタスクフォースの議事録にも記載されている。この吸着材の原料供給が可能である触媒メーカーと福島現場の実際の担当会社との間で、検討が進められている。

4) 関連する学協会活動報告（横堀）

6, 7, 8月に開催された福島問題に関する関連する学協会活動(深層防護ワークショップ、放射線計測フォーラム福島、等々)への参加報告があった。配付資料#7.3を参照。

2. 電中研塚田氏訪問について

NDF 沼田殿を介してお願いしていた「高性能多核種除去設備タスクフォースの委員である電中研塚田氏訪問」について、塚田氏から了解の連絡をいただいた。この間の経緯は、配付資料#7.4を参照。また、塚田氏が言及されている前任の小山氏の論文については、配付資料#7.5を参照。

3. 汚染水処理について

- 1) トリチウム問題に関連し、福島民報に掲載された磐城桜が丘高校同窓会長のコラム

記事（配付資料#7.6）が紹介された（鈴木）。

2) いまだにトリチウム汚染水が出続けていることに関連し、当初濃度は 10^4Bq/cc であり、現状は 10^3Bq/cc であること、および 2011 年 6 月頃までのトリチウムの炉心から滞留水への移行量は約 45% であるとの論文(配付資料#7.7)が紹介された（横堀）。

4. 次回予定

9 月 14 日（月） 15 : 00 から、化学工学会会議室

以上